

平成21年3月25日

九州地区高等学校PTA連合会進路対策委員会

「私たちの日常生活と親との関わり」

アンケート調査報告書

九州地区高等学校PTA連合会

会 長 亀原了円 (熊本)

平成20年度九高P連進路対策委員会

委員 長 青山章三 (宮崎)

副委員 長 有馬純博 (鹿児島)

委 員 河野武司 (佐賀)

金城 守 (沖縄)

横田和勝 (福岡)

鶴田好美 (熊本)

小川克己 (大分)

村井一郎 (長崎)

山崎幸雄 (宮崎)

助言者 大塚 守

(大分県立大分南高等学校長)

原田 毅

(熊本県立水俣工業高等学校長)

大重 順一

(宮崎県立都城工業高等学校長)

はじめに

九州地区高等学校PTA連合会進路対策委員会では、過去の取り組みを分析し、進路指導において、親に求められていることは何かを十分認識した上で、親子の関わりを深めていくことが一番大切だという事を19年度の親に対するアンケート調査「子どもたちの日常生活と親の子どもへの関わり」から得、提言もしてきました。

20年度は、「私たちの日常生活と親との関わり」として、ほぼ同じ文面のアンケートを子どもから取り、子どもから見た親を分析し、親子の進路指導に対する一助になる提言ができればと思います。

この調査は、平成20年11月25日～28日九州8県の高校2年生、(各県200名予定、普通高校100名、専門・総合高校100名)を目標にし、1691名の回答を得ました。(回答数長崎198、熊本276、佐賀217、宮崎、鹿児島、大分、福岡、沖縄各200)

調査結果を各項目ごとに分析、協議し、当委員会としての具体的な提言をさせていただきました。

この調査研究が保護者、生徒の皆様の進路指導充実に少しでもお役に立てればと願っております。

調査1.「生きていく」知識・技術を育てるための親との日常的な関わり

(1)あなたは家庭を親子のふれあいや家族の団らんの場として活用していますか。	積極的に活用している 23.1%	活用している 66.3%	活用していない 10.6%
(2)あなたは就寝・起床の時間を定め、リズムのある生活をしていますか。	している 27.9%	努力はしているが十分ではない 49.2%	していない 22.4%
(3)親は、バランスのある食事を通してあなたの心身の健康に配慮していると思いますか。	十分配慮している 35.7%	配慮している 54.1%	配慮していない 10.2%
(4)親は、他人に対する思いやりや善悪の判断についてあなたに話して聞かせています(聞かせてきました)か。	十分に話して聞かせている 36.3%	話して聞かせている 57.0%	話して聞かせていない 6.7%
(5)親は、部活や塾・習い事を始めたら最後までやり遂げるようあなたに指導していますか。	頑張るよう応援指導している 45.5%	指導している 47.4%	指導していない 7.1%
(6)親は、テレビを観る時間や内容をコントロールするようあなたに指導しています(指導してきました)か。	指導し実行できている 14.7%	指導しているが私が不十分 54.6%	指導してくれない 30.7%
(7)あなたが決められた時間に朝食・夕食をとれるよう親は準備していますか。	している 59.2%	しているが十分実行できていない 25.3%	していない 15.5%
(8)親は、社会人として必要な基本的なマナー(乗車態度、約束を守る、時間を守る、授業態度、公私混同、入室ノックなど)についてあなたに指導しています(指導してきました)か。	積極的に指導しほぼ実行できている 42.3%	指導しているが実行が十分でない 46.0%	指導が不十分である 11.7%
(9)親は、「いただきます」「ありがとうございます」などの感謝の言葉を言うようにあなたに指導しています(指導してきました)か。	指導し実行できている 63.6%	指導しているが、私が不十分 25.1%	指導していない 11.3%
(10)あなたは親から電話のかけ方、受け方についてのマナーを教えられましたか。	教えられて身に付けている 45.8%	教えられているが、私が不十分 25.7%	教えていない 28.5%
(11)親は、あなたの携帯電話やメールの使用状況を把握していますか。	把握している 52.4%	把握していない 47.6%	
(12)あなたは携帯電話の利用について、親から指導されたり親子でルールを決めたりしていますか。	指導されルールも決めている 19.9%	指導されているがルールは決めていない 43.8%	指導されていない 36.3%

- (13)あなたは、「おはようございます」「こんにちは」「しつれいします」「おやすみなさい」などのあいさつをするよう親から指導されています(指導してきました)か。
- | | | |
|-------------------|-------------------|---------------|
| 指導され実行できている 55.3% | 指導されているが不十分 27.0% | 指導していない 17.7% |
|-------------------|-------------------|---------------|
- (14)あなたは家族の一員として、何か手伝い(買い物、溝掃除、風呂掃除、雨戸開け、ゴミ出し、食器の片付け、洗濯物たたみ、新聞とりなど)をしていますか。
- | | | |
|------------------|--------------|-------------|
| ほとんど毎日している 24.9% | 時々している 61.0% | していない 14.1% |
|------------------|--------------|-------------|
- (15)あなたは、自分のこと(布団の上げ下ろし、上履きの洗濯、部屋の雨戸明け、ゴミ捨て、机の整理整頓など)は自分でしていますか。
- | | | |
|------------|--------------|------------|
| している 41.2% | 時々している 50.0% | していない 8.8% |
|------------|--------------|------------|
- (16)あなたは、人の話の聞き方(まず相手の話をよく聞く、分からないときは尋ねる、返事をするなど)を親から教えられていますか。
- | | | |
|--------------------|---------------------|----------------|
| 教えられて実行できている 45.0% | 教えられているが私が不十分 37.1% | 教えられていない 17.9% |
|--------------------|---------------------|----------------|
- (17)あなたは、他人(親や先生など)から用件を頼まれ用件を済ませたときは報告するように親から指導されています(指導されてきました)か。
- | | | |
|-------------------|---------------------|----------------|
| 指導され実行できている 40.1% | 指導されているが私が不十分 29.3% | 指導されていない 30.6% |
|-------------------|---------------------|----------------|
- (18)親は、身の周りの環境を健康的に保つことの大切さを教え、部屋の換気や清掃、布団干しなどを励行させていますか。
- | | |
|-------------|--------------|
| させている 73.8% | させていない 26.2% |
|-------------|--------------|
- (19)親は、危険・事故・犯罪を予測し、予防、防犯する態度(自転車の安全運転、ガス・水道栓の確認、戸締り、火の始末、他人との交際のマナーと節度など)をあなたに注意していますか。
- | | | |
|-------------------|---------------------|------------|
| 注意を聞き実行している 67.9% | 注意されているが私が不十分 23.6% | 注意しない 8.5% |
|-------------------|---------------------|------------|
- (20)親は、小遣いや品物の購入を求められたとき親としての考えを伝え、あなたの言いなりにならないですか。
- | | |
|-----------------|------------------|
| 言いなりにならない 87.0% | 言いなりになっている 13.0% |
|-----------------|------------------|
- (21)親は、自分たちの家庭の経済状況や置かれている立場をあなたに理解させることに努めていますか。
- | | |
|-------------|--------------|
| 努めている 77.8% | 努めていない 22.2% |
|-------------|--------------|
- (22)あなたが外泊を求めたとき、親としての指導がありましたか。
- | | | |
|-----------------|----------------------|-------------|
| 指導され話し合った 38.8% | 指導されたが話し合っていない 32.4% | 指導はない 28.8% |
|-----------------|----------------------|-------------|
- (23)あなたは、親戚や近所の人との接し方について、高校生にふさわしい言葉遣い、あいさつ、態度、気配りを親から教えられていますか。
- | | | |
|--------------------|---------------------|----------------|
| 教えられて実行できている 53.5% | 教えられているが私が不十分 28.1% | 教えられていない 18.4% |
|--------------------|---------------------|----------------|

- ほぼ全ての設問に対し、否定部分(していない、指導されていない、教えていない等)が多くあり、親の関わり不足、指導不足が考えられます。もっと自信を持って日常的に子どもたちと関わりを持つ必要を感じます。(設問 2,6ほか)
- あいさつや基本的なマナーについては、指導は受けているが自分が十分できていない子どもや、指導が不十分と感じている子どもが半数ほどおり、親の「指導や言い聞かせ」を実行させることの工夫や努力が大切だと思います。(設問 8,9,13,23)
- 電話のかけ方、受け方についてのマナーは、親の時代と違って子どもは既に幼少のころから電話が身近にあり、ケイタイの問題、メールの使用状況等と関連して親子で関わりを深く持ち、家庭でのルール作りや積極的な指導が必要でしょう。(設問 10,11,12)
- 人の話を聞く事や報告することの大切さも理解が不十分のようです。また、家庭の経済状況や置かれている立場を理解させることは、子どもの進路選択とも大きな関わりを持つことであると考えられますので、理解させる工夫、努力が求められます。(設問 16,17,21)

調査2.進路指導(進学・就職)の基盤となる親子の関わり

(1) 働くことの意味について親子で話し合ったことはありますか。	時々話し合っている 32.2%	話し合ったことはある 47.3%	話し合ったことはない 20.5%
(2) 「勉強することの意味・大切さ」について親子で話し合っていますか。	時々話し合っている 21.1%	話し合ったことはある 54.7%	話し合ったことはない 24.2%
(3) あなたは、親の職場の話聞いたことはありますか。	時々話を聞いている 67.2%	以前話を聞いたことはある 27.1%	話を聞いたことはない 5.6%
(4) あなたは、親が歩んできた人生の話聞いたことはありますか。	時々話を聞いている 37.2%	以前話を聞いたことはある 49.1%	話を聞いたことはない 13.7%
(5) 社会人になると言うことはどんなことか親子で話し合ったことはありますか。	時々話し合っている 24.7%	話し合ったことはある 45.3%	話し合ったことはない 30.0%
(6) あなたは、親が進路を選んだときの話を聞いたことがありますか。	ある 45.7%	ない 54.3%	
(7) あなたは、親から仕事をする上での悩み苦労について話を聞いたことはありますか。	時々話を聞いている 43.4%	以前話を聞いたことはある 39.1%	話を聞いたことはない 17.5%
(8) あなたは親から、仕事のやりがいや楽しさの話聞いたことはありますか。	時々話を聞いている 28.5%	以前話を聞いたことはある 39.3%	話を聞いたことはない 32.2%
(9) あなたは親から、将来生きていくうえでの心構えについて話を聞いたことはありますか。	時々話を聞いている 27.6%	以前話を聞いたことはある 38.3%	話を聞いたことはない 34.1%
(10) 親は、あなたの将来の夢を聞いてくれますか。	聞いてくれる 83.7%	聞いてくれない 16.3%	
(11) 親は、あなたの将来の生き方・生活についての話を聞いてくれますか。	聞いてくれる 81.8%	聞いてくれない 18.2%	
(12) 親は、あなたの希望する進学・就職について話を聞いてくれますか。	聞いてくれる 87.2%	聞いてくれない 12.8%	

- 働く事の意味や、勉強することの大切さを話し合うと言う重い問題に関する事は、子どもの成長に合わせて何度でも、繰り返し話し合い、理解できるものだと思いますが、話し合ったことがない親が多くみられます。(設問 1,2,5)
- 特に一番身近に接する親が、自分の体験や経験を通じて進路選択の事や、社会生活の実情を話すことは大切な事だと思いますが、設問の結果では不十分であることが解ります。親の苦労や悩み、仕事のやりがいや楽しさを通じて社会人になることを理解させるのも重要なことです。(設問 3,4,6,7,8,9)
- 多くの子どもたちが、将来について過大な夢を抱いたり逆に自信をなくし失望したりと、悩み苦しみながら生活しているものと思います。子どもの将来について余裕を持って話を聞き、適切なアドバイスをしたり励ましたりすることで子どもたちを支えていくことが大切だと思います。(設問 10,11,12)

調査3.親が子どもの進路選択と進路実現に関わるために必要な進路学習(進路情報の収集)とその活用について

(1)親は、学校の進路行事や進路企画には参加していますか。	積極的に参加している 21.3%	時々参加している 52.1%	参加していない 26.6%
(2)親は、社会の変化を理解しながらあなたの進路指導にあたるよう努めていますか。	親の意見も言いながら努めている 29.9%	努めている 52.1%	努めていない 18.0%
(3)親は、景気や業界の動向・雇用形態の変化などに関心を持ち情報収集に努めていますか。	積極的に努めている 16.0%	努めている 55.2%	努めていない 28.8%
(4)親は、進学先・就職先の選択に必要な情報や知識の日常的な収集(学校配布資料、新聞、雑誌など)に努めていますか。	積極的に努めている 16.0%	努めている 48.1%	努めていない 35.9%
(5)親は、収集した進路情報をあなたとの会話やサポートに活かす努力をしていますか。	積極的に努力している 15.5%	努力している 53.1%	努力していない 31.4%
(6)親は、進路情報の収集にインターネットを活用していますか。	よく活用している 12.9%	時々活用している 30.7%	活用していない 56.4%

● 進路情報の収集には親としての限度もあり、学校に任せる部分はあると思われませんが、努力は見受けられます。世界的不況の中、「社会がどのようになっていくのか予測がつかない」と感じている親も多いと思われませんが、学校の進路行事や進路企画に積極的に参加するなど、進路情報収集に努めてほしいと思います。

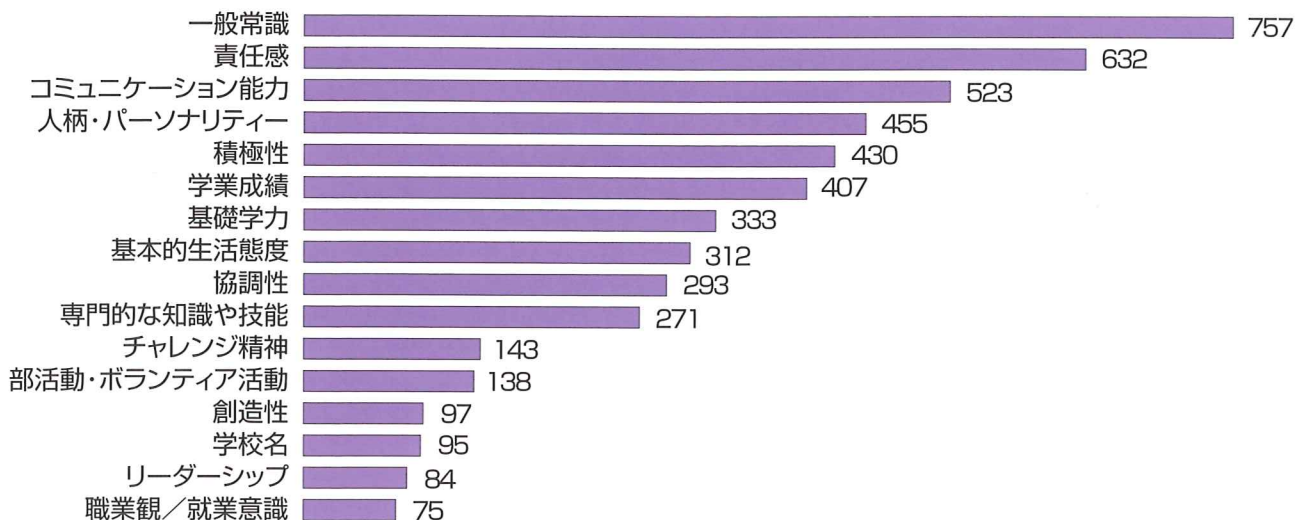
調査4.子どもの進路への関わりを深めるための親の態度

(1)親は、あなたに対して自分の意見をきちんと言っていますか。	言っている 90.2%	言っていない 9.8%
(2)親は、あなたが受験生ということで特別扱いや特権意識を持たせていることはありませんか。	ない 81.8%	ある 18.2%
(3)親が点数ばかりを気にして、そのことで子どもにプレッシャーを与えていることはありませんか。	与えていない 75.6%	与えている 24.4%
(4)親が、あなたに対し、ことある毎に身近な人との比較をしていることはありませんか。	比較していない 67.3%	比較している 32.7%
(5)親は、あなたに対して「あなたは駄目ね～」などといった否定的な言葉を使っていませんか。	使っていない 76.4%	使っている 23.6%
(6)親は、あなたとの会話に余裕ある態度、回答を持つという態度で臨んでいますか。	臨んでいる 67.1%	臨んでいない 32.9%
(7)親はあなたへの過剰な干渉はせず自立を促し子離れに努めていますか。	努めている 73.0%	努めていない 27.0%
(8)親は、大事なことを決めるとき、自分の意見を言わない放任主義になっていることはありませんか。	なっていない 87.3%	なっている 12.7%

● 親としての意見をはっきり言うことや、大事な時の決断などについては子どもとして評価していると感じ取れますが、身近な人との比較やプレッシャーはだいぶ感じているようです。日頃のちょっとした言葉や態度で傷ついたり、やる気を失う子どもも考えられますので十分な配慮が求められます。

● 子どもとの会話で余裕を持っていない親や、過剰な干渉と取れる行動の親が30パーセント程いると分析できますが、親としての言動に自信を持ち、気持ちの通じ合える親子関係を築くことで解決できる事だと思えます。

(9) 将来あなたが受験するとき、企業が採用時に重視する要素はあなたは何と思いますか。
 下記の中から企業が重視すると思われるものを3つ選んでください。



● 平成20年2月に「東京経営者協会」が実施した「新規高校卒業予定者の採用に関するアンケート調査」によると、企業が重視する要素として

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. コミュニケーション能力 | 5. 人柄・パーソナリテイ |
| 2. 協調性 | 6. 積極性 |
| 3. 基本的な生活態度 | 7. 読み・書き・計算等の基礎学力 |
| 4. 職業観／就労意欲 | 8. 責任感 |

で子どもの回答と若干の違いがみられます。

おわりに

平成19年10月の全国高P連と(株)リクルートが共同で実施した「高校生と保護者の進路に関する意識調査」でも保護者の70パーセントが進路選択のアドバイスをすることの困難さを答えています。今後社会がどのように変化していくかの予測も含めて「不安はあたり前」と言うところから出発して、これまでの人生経験から子どもに接し、勇気や希望や、自信が持てる力を後押しできる親ができたらずばらしいと思います。

アンケート調査にご協力頂きました各県の学校、ご指導頂いた先生、回答いただいた生徒の皆様に厚くお礼を申しあげ結びといたします。

ありがとうございました。

九州8県の高校生

「私たちの日常生活と親との関わり」

アンケート調査から見た親への提言

- 1 親はもっと自信を持って日常的に子どもたちと積極的に関わり、指導し、教え、そして共に成長する姿勢を示そう。
- 2 親のこれまでの体験や経験を教えたり話し合ったりしよう。
- 3 学校行事や進路学習に進んで参加し、進路情報を子どもと共有しよう。
- 4 子どもの人権を尊重し、親の役目を再認識して、気持ちが通じ合える親子関係づくりに努めよう。